

<h1>第 85 号</h1>	<h1>Super Highway</h1>	
<p>発行日 2023. 4.29</p>	<p>J R 東労組バス関東本部</p>	<p>J R 東労組ホームページ</p>

第 94 回メーデー中央大会

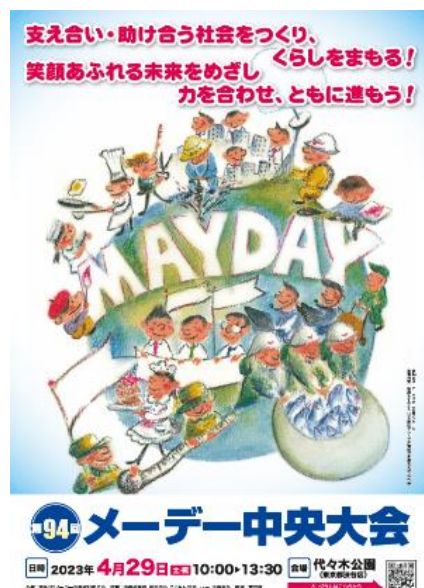
4月29日、代々木公園にて開催された第94回メーデー中央大会に、中央本部と共にバス関東本部井上議長が参加をして来ました。もの凄く多くの労働者が参集し、活気あふれる集いに「連帯」の重要性を改めて感じた次第です。

メーデーの始まりは1886年の5月1日、アメリカのシカゴで、1日12~14時間勤務が当たり前だった労働環境の改善を求めて労働者がゼネラルストライキ（全国的な規模で行われる労働争議）を起こし、8時間労働の実現を要求したことに由来します。

日本では1920年5月2日に第1回メーデーが東京・上野公園で開かれ以来、労働者の地位や労働条件の向上、権利拡大をはじめ、人権・労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求に深く貢献し、その役割を果たしてきました。

メーデーには組合員が結集し、労働者の地位や労働条件の向上にとどまらず、人権や労働基本権の確立、民主主義の発展、恒久平和の希求など、社会に向けてメッセージを発信しています。

またメーデーは、産別・単組の垣根を越えた組合員同士の貴重な交流の場でもあります。「労働者の団結と主張の場」から「働くすべての仲間の祭典」へ。メーデーの位置づけは、時代の流れとともに変化しているのです。



J R バス関東で働く仲間を一つに！